

岳連 ニュース

宝 永

URL: <http://www.shizuokam.com>

静岡県山岳連盟

〒420-8076

静岡市駿河区八幡3-1-17

TEL (FAX) 054-288-7512

編集発行/総務委員会

平成30年3月12日発行

第24号

雪山の基礎技術を学ぶ

第57回冬山講習会 雪上歩行、ピッケル技術など

平成29年度の冬山登山講習会・登山指導者講習会が2月3日(土)～4日(日)に掛け富士山御殿場口双子山周辺に於いて開催された。本講習会は今回で57回目を数える歴史ある講習会。

講習会に先立ち毎年行われている指導員研修会は、昨年度的那須高校生雪崩事故を受けて、「雪崩の事例・高校生那須遭難と今後」「登山の雪崩対策」をテーマに研修した。また担当講師による事前打ち合わせは、指導の内容とその方法及び注意点の確認と共に、講習会場となる富士山御殿場



口の雪崩に付いて、過去の発生状況を検証して講習会に臨んだ。

今回の参加者は高校生58名、一般初級2名、中級9名、顧問・指導者11名、講師・本部員を合わ



せて105名の参加であった。開講式では滝田県岳連会長、鈴木県教育委員会健康体育課主査の挨拶があり、その後指導委員長よりの諸注意、講師紹介後、講習を開始した。高校生はテント設営のデモンストレーションに基づき、各班毎にテントを設営した。その後双子

山方面に訓練場所を求めて行動を開始した。

今年の双子山周辺は前々日の降雪で雪の量は多く、各班は沢筋の斜面を利用しての講習と成った。内容は事前の講師打合せに基づき、雪面歩行(ツボ足・キックステップによる直登下降、斜登下降)、ピッケル技術(名称・携

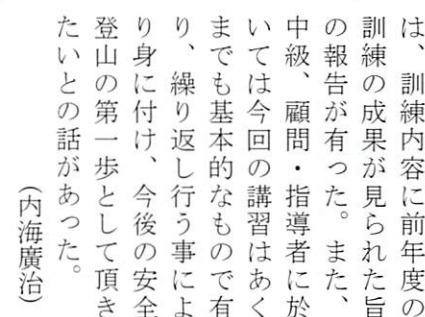
帯法・使用方法)、耐風姿勢等を実施して一日目の講習は終了した。2日目も天候に恵まれ早朝6時より行動を開始すると、箱根連山に登る朝日を見ながら双子山付近まで登高。アイゼンを着けての雪面歩行(直登



下降、斜登下降)、滑落停止方法を実施する。また、今回は各班毎にスノーシューを準備して、スノーシューでの歩行を体験した。中級と高校顧問はロープを使い確保技術の習得が行われた。



閉校式の講評では入山前の服装、装備の点検の、大切さの指摘がなされたものの、昨年度に続き2回目参加となる高校生には、訓練内容に前年度の訓練の成果が見られた旨の報告があった。また、中級、顧問・指導者に於いては今回の講習はあくまでも基本的なもので有り、繰り返し行う事により身に付け、今後の安全登山の第一歩として頂きたいとの話があった。



富士山世界遺産センターオープン

平成29年12月23日静岡県富士山世界遺産センターが富士宮にオープンした。

世界文化遺産に登録された「富士山」信仰の対象と芸術の源泉」を後世に守り伝えていくための拠点施設として、国内外の人々に、歴史、文化、自然など、富士山を多角的に紹介していくと言う。

富士ヒノキを使用した本格子と「逆さ富士」をイメージした建物が施設のシンボルとなっている。この逆さ富士の中のスロープをらせん状に歩きながら展示ゾーンを巡ること、富士登山を疑似体験することができる。

(木ノ内高嘉)

水壁に映る逆さ富士と木格子富士

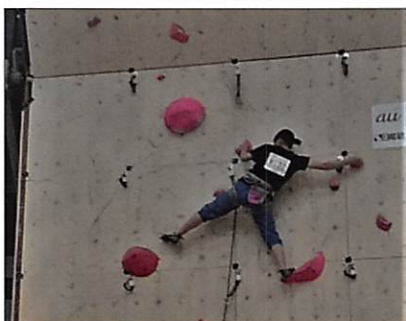


全国高校クライミング大会

全国5位 浜松日体男子団体

第8回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会が、12月23日と24日の二日間、埼玉県加須市・加須市民体育館で開催された。静岡県からは、男子、原賢伸(浜松日体三年)、砂子由弥(浜松日体二年)の二名、女子、高柳果歩(浜松日体二年)、武田有未(浜松学芸二年)、井内千裕(浜松日体一年)の三名が出場した。

予選はフラスコユニ一本、各ルートの順位合計で準決勝進出が決まる。男子はAルート、Bルートともに、下部は比較的登りやすく、中盤以降難しくなるという設定であった。Aルートは中盤、ピンチホールドが並ぶ部分での足を高く上げるムーブがポイントとなった。また、上部はホールド間の距離が遠く、アグレッシブなムーブが要求された。Bルートは、上部にカチが多く、パワフルな登りが必要となった。グレードはA・Bルートともに13



a。二人とも健闘したものの、予選敗退となった。特に原は、Aルート中盤で足を滑らせフォールしかけるというミスをし、なんとか踏み留まったものの、その影響が最後の一手が取れずに終了。準決勝進出者26名のところ27位と、あと一步のところまで予選突破を逃す結果となった。

12cから12d。三人とも普段練習をしているクライミングセンターでは、あまり取り組まない系統の課題であったのか、両ルートとも、下部から苦戦していた。結果は残念ながら全員予選落ちであった。

団体では男子が5位入賞。個人では男女とも全員予選落ちと、結果だけ見れば残念であったが、原を除く四名は全国レベルの大会にほぼ初出場という中で、よく健闘した。とはいえ、様々な面で経験不足というのがネック

雪山の雪崩を学ぶ 雪崩遭難事例から

29年度の指導員研修会が1月28日、静岡市の「あざれあ」で、公認指導員35名の参加者を得て開催された。

今回の研修内容は、「雪山の雪崩」をメインテーマに実施した。「雪崩の事例」として、①高小田さんの事故報告を静岡山岳会の苦米地さん、「登山の雪崩対策について」を御殿場山岳会の西



島さん、「山でのファーストエイドと低体温症」

(馬淵 剛)

をJR東海浜松の田中さんがそれぞれのテーマに沿い、熱心に講義を行った。受講者も身近なできごとに関心を持って、雪崩の怖さに、真剣な表情で話を聴いていた。



の手引き」を改定しているという。事故を境に高校生登山を後退させることは本筋ではないので、二度と同じ過ちを繰り返さないよう安全な高校登山の検討を願いたい。

小田さんの事故は、昨年4月30日、剣岳源次郎尾根2峰の山頂から平蔵谷へ下る途中、雪崩に巻き込まれ死亡した。剣岳を目標していたが、雪が多くトレースもなく、予想以上に時間がかかり、コルで剣岳山頂を断念し下山を決めたという。

昨年3月の那須遭難では春山登山講習会中の高校生等が雪崩に巻き込まれ、生徒、教員8名が死亡、40名が重軽傷を負うおきな遭難事故が発生した。現場は過去にもこの訓練中に雪崩に巻き込まれたことのある場所であり、前夜からの降雪で、登頂を断念しラッセル訓練に変更した中で起きた。

この事故を受け、スポーツ庁から通達がでて、県高体連登山部では「登山



(木ノ内高嘉)

永嶋

小学6年
女子

優勝

三年連続小学生(女子)が大会制覇
ジュニアボールドリング大会

第11回静岡県高等学校・ジュニアボールドリング競技大会が、2月12日(月)に静岡市のプラネットクライミングジムで21校56人(男子38人、女子18人)の参加を得て競技が行われた。

予選は男女共通の12課題のセッション方式で行われ、完登数とボーナス獲得数で競われた。男子は昨年優勝の片桐(豊田中)が第9課題の唯一の完登を決め、11完登でトップで予選を終え、9完登以上の7人が決勝に駒を進めた。女子は、これも昨年優勝の中里(裾野西中)が唯一女子で第7課題を登り、8完登でトップとなり、7完登までの5人が決勝に進出した。

決勝は、男子、女子同時進行の4分間、4課題のベルトコンベアー方式で行われた。男子は、片桐が力をみせ、唯一第2課題を登り、2完登2撃

で優勝を決めた。2位、3位には1完登ながら、トライ数の差で外岡(門池中)、鈴木(金谷中)が入った。女子は、やや課題が易しかったか、永嶋(東益津小)、片木(富士中)、中里の3名が4完登し、全課題1撃の永嶋が優勝を決めた。オブザーベーションの正確

さ、安定した登りは特筆に値する。2年前の片木、昨年のの中里、そして本年と3年連続で小学生が大会を制した。

今回は、県内の大部分のジムに声をかけをし、選手への声かけを、選手の手を助けるに努めた。また、中学生の参加は、昨年より増えた。継続的に大会をアピールし次世代の選手発掘に努め、対外的な大会に数多く参加し力をつけてもらいたいと考えている。

(諸戸明)

日山協 全国理事長会議

岳連のガバナンス、法人化、名称変更

H29年度の全国理事長

会議が東京渋谷のフォーラムエイトで開催され、全国から43都道府県の理事長が出席した。

会議は午前中、組織改編と公益法人ガバナンスの説明があり、午後からは、1月末までの事業報告、会計中間報告、共済会事業などの報告と30年度事業方針、予算方針、共済会事業、60周年記念事業募金と意見交換会が

と、安定した登りは特筆に値する。2年前の片木、昨年のの中里、そして本年と3年連続で小学生が大会を制した。

今回は、県内の大部分のジムに声をかけをし、選手への声かけを、選手の手を助けるに努めた。また、中学生の参加は、昨年より増えた。継続的に大会をアピールし次世代の選手発掘に努め、対外的な大会に数多く参加し力をつけてもらいたいと考えている。

(諸戸明)

男子
1位 片桐綾真(磐田豊田中)

2位 外岡啓太郎(門池中)
3位 鈴木滉人(金谷中)

女子

1位 永嶋美智華(東益津小)

2位 片木麻音(富士中)

3位 中里溪夏(裾野西中)

体合わせても7万5千人で組織率は1%に満たない。未組織の人に如何に呼びかけ、伝えていくかが課題である。群馬では岳連、労山、JAC群馬支部が連絡協議会を作った。三者が一つになれば



登山界の意見が言えるようになる。各県でも考えて欲しいと挨拶があった。

合田常務理事の公益法人のガバナンスの説明で、ガバナンスは企業の不祥事を防止するための企業統治とみるが、スポーツ基本法には、スポーツ団体は、適正に事業を行うこと、透明性の確保、自らが遵守すべき基準を構成すると、ガバナンスの構築が求められている。日山協のガバナンスは遅れているという。日山協は登山、山スキー、クライミング等広い範囲で性質の違うものをまとめていて、特にスポーツクライミング(SC)が五輪の正式種目となったことから、NF(国内統括団体)として機能しているか問われている。ガバナンスは、団体の不祥事を防止できるだけでなく、より民主的に健全な団体運営をするためのものと説明した。

一般社団法人があるので検討してほしい。バスケット協会では県連盟へ法人化を指示して、昨年4月すべてが一社法人となった。岳連では、東京都が公益法人、大坂、広島が一般法人を取得している。さらに、日山協がSCのNFであることから、岳連は県のSCを統括する団体となるので名称にSCを入れて欲しい。事情はあるだろうがSCの名前が入っていないのは、ねじれていて問題が多い。県内でどこがSCを統括しているか分からない状況だと説明した。

これは、ガバナンスの一環としての説明で、日山協の要請ではないが、いずれこの方向に動いていくだろう予測はできる。岳連でSCをやる人が僅少の中どのように融合させていくのか、大坂の意見のように、将来SCと分かれ、独自の道を選択するのか、我々も組織の運営からこの問題について考えを整理していく必要を感じた。

(木ノ内高嘉)

初級レスキュー講習会

平成29年度初級山岳セ
ルフレスキュー研修会が
静岡市中央体育館にて、
平成30年1月20日に開催
された。

山者が低体温症、ケガ等
で動けない場合などの大
急処置の仕方、また工藤
紀代氏、小林玲子氏、高

受講者は所属団体会員、
個人会員、一般の方など
38名、講師は岳連指導員
4名、弘明堂治療院佐藤
先生、県警山岳救助隊隊
長鈴木隊長、岳連関係3
名の参加で行われた。



野信一郎氏による、身近
なものでできる搬送法
(1人、2人、3人等)
ザック、雨具、ボールな
どを使用して実際に背負っ
たり搬送したり行なった。
午後から毎回好評の佐
藤先生のテーピングテー
プによる講習に入り、足
首(捻挫)、膝等実際に
張って、試してみた。最
後に山岳救助隊鈴木隊長
により29年の遭難事故件
数の報告、静岡県は全国
で5番目の件数、又富士
山の事故が多いと発表さ
れた、遭難事故の場合は
110番・119番通報し必ず



救急法講習会

(山岳事故です)と伝え
ること、そして必ず計画
書を提出(書面・電子メー
ル等利用)することなど
を話されました。

(堀内 修)

南ア冬山相談所開設

沼平指導センター

相変わらず単独登山者多し

南アルプスの冬山相談所が、12
月28日から1月3日までの7日間、
沼平の指導センターで開設された。

県遭対協からの要請により、県
岳連から指導員を派遣した。また、
警察の山岳救助隊員もその間常駐

し、登山者の相談、指導及び天候
や雪の状態などの情報提供を行い、
安全登山の一翼を担った。

この期間の沼平からの入山者は、
59人(内女性10人)で茶臼岳・上

河内岳方面が26人、聖岳・赤石岳
方面が25人、千枚・荒川岳方面が
5人、その他が3人であった。入
山者は、例年より少なく、例年茶
臼岳・上河内岳方面が多いが、今
年は意外と聖岳・赤石岳方面が多
かった。相変わらず単独の登山者
も多かった。

今年の冬山は、年末年始好天に
恵まれたが、31日沼平は小雨で、
稜線は小雪が舞った。積雪は例年
より少なかったが、暮れは稜線で
は強風で停滞したパーティーがあっ

た。この間山岳救助隊への事故等
の連絡はなかった。

(滝田博之)



日山協ブロック研修会

H29年度日山協ブロッ
ク別研修会が1月13、14
日、岐阜成徳学園高校で
開催され、静岡1、愛知
1、岐阜3、三重12の計
18名が参加した。

この研修会は、国体や
クライミング競技等に関
する最新の情報、競技審
判、運営に関する問題点、
意見交換等、資質の向上
を目的として毎年1回開
催され、公認指導員の義
務研修を兼ねている。

運営研修議題
1 第72回国体実施状況と
問題点

第72回愛媛国体のブロッ
ク大会で、監督資格違反
があった。選任された監
督の資格は有効期間内だ
ったが、資格更新時期
の半年前までに、義務研
修を修了する条件がクリ
アせず、出場を認められ
なかった。

各岳連では、地区予選
会においても公認スポー
ツ指導者の資格の有無、
有効期限の確認、義務研
修の有無及び有資格者の
予備人数が必要になっ
てきた。
なお、平成33年三重国体

の運営に携わるため運営
員認定に三重岳連から12
名の多数参加者があった。
日山協講師の国体会場、
運営等の解説に、三重か
らの参加者は、クライミ
ング大会、地区予選会等
の競技についての経験、
知識の無い方々が多く、
競技会場、運営、審判業
務等の話を聞いても判ら
ず混乱した。

2「国民体育大会山岳競
技規則集」について

・規則集の解説、変更箇
所などの解説

・登録選手規程

・日本山岳・スポーツク
ライミング協会の組織に
ついて

・国体山岳競技運営員規
程について解説

岐阜聖徳学園高にリー
ド壁が完成し、今年のブ
ロック大会の会場となる。

(前川朝夫)



竜爪山岳競技会

竜爪山岳競技会が12月10日(日)に静岡市の竜爪山を会場に実施された。

昨年に続き好天に恵まれ、予定通りのコースで実施することができた。

この大会は元々は国体山岳競技の縦走の練習会として始められた。2008年の大分国体より山岳競技から縦走が廃止となったが、その後も高校総体の県大会に規定重量(男子21kg、女子17kg)を合わせ、主に県内高校登山部員の体力を競う大会として継続されている。

今年も高校総体県予選で上位に入賞する多くの学校が出場した。平山公園で開会式を行った後、



選手は三本桜下のスタート地点まで徒歩で移動し



山岳会紹介

当会は昭和35年、1960年11月3日に「静岡ワンダーフォーゲル」として創立され、1997年に「静岡県ワンダーフォーゲル会」と名称変更し、現在に至っております。

初代会長より数えて4代目の会長の下、活動しております。今年で58年目に入りました。「冬山登山と岩登りはやらない」という伝統を守り、行事を実施しております。幸いにも大きな遭難事故もなく今日に至っております。

近年は当会も例にもれず、高齢化と会員数の減少が進ん

た。ウォーミングアップの後、女子は10時30分、男子は10時40分に一斉にスタート。持てる力を振り絞りゴールの薬師岳山頂を目指した。成年の部は、浜松日体高校教諭の鈴木和也さんが今年も出場し、高校生に混じって奮闘した。上位の結果は以下の通りである。

個人男子

- 1位 富士東高校 谷瑞幾 63分11秒
- 2位 富士高校 鈴木康平 63分56秒
- 3位 富士高校

個人女子

- 1位 浜松日体高校

北原稔朗 66分09秒



静岡県ワンダーフォーゲル会

会長 勝見鉦雄

士山の日記 協賛「富士見ウォーク」・静岡市山岳連盟「みどりの道パトロール」・県との協働の「口坂本悠久の森づくり」・合同キャンプ・SWV創立記念ワンドライ・SWV強歩大会・韓国遠征・登山教室・夏山安全登山研修

支部で構成し、在籍会員数は350名を前後しております。前回60周年記念誌に寄稿させていただいた時からこの10年で、250名の減少となっております。会員確保には苦慮しています。

でいます。高齢化に伴い行事の形態も、北アルプス等の登山はもちろんですが、名所史跡を巡るウォーキング等、山登りからウォーキングまで範囲が広がっております。現在は本部と13

が、活動は活発に行っております。主な行事は本部行事として、総会・静岡県山岳連盟主催「しずおかスポーツフェスティバル及び各種講習会」・県レクリエーション協会協賛「日本平山の歌の集い」・富

- | | | | | | | | |
|-------------|---------|-------------|---------|--------------|---------|-------------------------|------------------|
| 石川陽菜 72分22秒 | 2位 富士高校 | 金指滯奈 74分14秒 | 3位 富士高校 | 久保田百音 78分22秒 | 成年男子個人 | 1位 浜松日体高校教諭 鈴木和也 87分05秒 | 学校対抗(上位3人のタイム合計) |
| 男子 | 1位 富士高校 | 2位 富士東高校 | 3位 富士高校 | 女子 | 1位 富士高校 | 2位 富士宮西高校 | |

3位 浜松日体高校 (清水雄三)



会等行っております。各支部も活発に活動しており、18年度は会全体で本部行事、支部行事、リーダー行事等、年間約250の行事を予定しております。また会員向けの会報を毎月発行しております。行事予定、山行記録を中心の編集で、18年3月号で691号になりました。近年ホームページも開設しました。入会希望者が少しでも増えればと期待し、広報にも努めて行きたいと思っております。



11月常任理事会

日時 平成29年11月20日

(月) 18時30分〜20時

場所 労政会館 5F

会議室

出席者 滝田、清水、木ノ内、豊田、堀内、工藤、松永、増田、市川、鈴木修、浅井、内海、田中、内山、諸戸、坂田(文責)

計(16名)

会長挨拶

①中高年安全登山講座(東部地区)は天候もなんとかもち無事終了、協力ありがとうございました。

②スポーツフェスティバルを10月27、28日、台風が近づいてくる中、体育館で開会式を行った。翌日は強風の為山伏行は中止、体育館でロープワーク等10時まで実施して、早く終了した。

③「竜爪山岳競技会、冬山講習会等」へのご協力をお願いします。

(1)各委員会報告事項

①指導委員会

・秋の登山教室(田中)

・座学 9月27日(水)

7名参加で実施。

・実技登山 10月13日

15日、白山にて参加者10名(参加7名、講師3名)で秋の紅葉を楽しんだ。

②遭対委員会

・中級セルフレスキュー講座(堀内) 11月18〜19日、7名参加でロープワークなど実施。今後は、保険料金などを実施要項に、明記する必要がある。

③国体委員会

・愛媛国体西条市で実施(諸戸)

・10月1日〜3日、成年男子、少年男子の二チームが参加した。結果は両チームとも実力を発揮できず入賞できなかった。

(2)各委員会計画

①初級セルフレスキュー研修会について(堀内)

・H30年1月20日実施、午前中はハイキング等の講義、午後には県警の指導を計画している。

②第9回竜爪山岳競技会について(清水)

・12月10日(日)実施、締切は11月24日(金)までに意思表示、メール清水まで。

③29年度指導者研修会について(工藤)

・30年1月28日(日)9時〜「あざれあ」

・雪崩がテーマの予定。

④冬山登山講習会について(清水)

・高校生の冬山講習について、「登頂」を目的にした登山は禁止、講習なども中止。

・参加費用は会員は4千円(元3500円から変更)

・栃木的那須岳の事故は「先生」(指導者)の責任が問われている。

⑤第11回ボルダリング競技会について(諸戸)

・3年前から小中学生の参加者有り。

・名称も「静岡県高等学校・ジュニアボルダリング競技大会」に変更した。参加資格も変更。

・ジュニアは個人として参加。

(3)その他

①カレンダー(滝田)

・売却の残が40部、追加購入を依頼する。

②日山協東海ブロック研修会について(木ノ内)

・H30年1月13日(土)14日(日)、岐阜で実施、運営研修は14日の1日のみ。滝田会長から指導員に連絡の予定。

③雪山を楽しもう 参加者募集。(内海)

・学習講座(座学) H30

年2月14日、募集30名。

・実技講座(実技・八ヶ岳・北横岳) 2月25日、募集25名。

・参加者確保の為、声かけをお願いしたい。

④第12回スポーツフェスティバル登山大会(内海)

・平成30年10月27日(土)28日(日)、浜松市天竜区「秋葉山・京丸山」で実施。

・募集人員 Aコース

(京丸山1泊・一般) 30名、Bコース(京丸山1泊・高校生) 30名

Cコース(秋葉山日帰り・全般) 30名、

・宿泊として「藤原家」利用も計画している、前回の実施では好評で応募者多数で参加できない人もあった。(坂田昇)

1月常任理事会

1月22日(月) 18時30分

分から静岡労政会館において常任理事会が開催された。出席者は滝田、木ノ内、前川、出利葉、豊田、高橋、工藤、松永、市川、鈴木修、内海、諸戸、清水(文責) 計13人

1. 会長挨拶

山岳連盟創立70周年記

念誌について、準備・原稿よろしく願います。

2. 各委員会からの事業報告

遭難対策委員会より(代工藤)

・初級山岳レスキュー講習会を実施した。内容はファーストエイド、担架による搬出、テーピング。高体連顧問も5名参加。海外委員会(出利葉)

・エルブルース遠征の日程が決まった。現段階で参加希望者は6名(県岳連3、市岳連1、労山2)

・竜爪山岳競技会(清水)

天候に恵まれて、予定どおり実施された。30年度も実施の予定。

3. 各委員会の事業計画指導委員会より(工藤)

・雪山を楽しむ講習と体験教室 14に座学、25に実習を行う。16人が参加希望。

・指導員研修会 1/28に実施する。研修課題は雪崩、講師は清水、苦米地、西島、田中

・冬山講習会・登山指導者講習会(滝田)

2/3〜4に実施。講習会は一般112人、高体連顧問9人、生徒58人が参加予定。

国体委員会(諸戸)

・ボルダリング競技会 11にプラネットで行う。

2/30年度国体予選 5/3に浜松スクエアクライミングセンターとB・SPO Tで開催予定。

昨年度予算不足だったの

で参加料を上げたいが、近隣の県の様子を見て判断する。

4. 岳連カレンダーの収支報告(滝田) 300部制作し、14部を贈呈に使用残り286部完売した。

5. 70周年記念について

・記念誌(木ノ内) 原稿を1月いっぱい集め、3月に発行する予定。

・式典等(滝田) 4/21の総会の後、講演会、祝賀会を開催する予定。

6. その他

・高校登山部顧問講習会について(清水)

スポーツ庁から、各都道府県教育委員会に30年度に登山部顧問の講習会を行うように要請が来ている。山岳連盟の協力をお願いしたい。(清水雄三)